

令和7年12月19日

飯綱町地域公共交通活性化協議会委員 様

飯綱町地域公共交通活性化協議会

会長 土屋 龍彦

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価 書面決議について

日頃から町の公共交通行政の運営に格別の御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、令和5年10月からiバス日中予約型デマンドワゴンについては、国の「地域内リーダー 系統確保維持費国庫補助金」を活用して運行しています。この補助金は、地域の公共交通協議会の議論を得て策定された計画に基づく事業が補助の対象となっており、事業終了後は、協議会自らによる事業の実施状況の確認・評価を行う必要があります。このことから、資料No.1及び別添1、1-2の事業評価表につきまして皆さまから御議論をいただくこととなります。

本来であれば、標記について協議会を開催し、御協議いただきたいところですが、今回は書面にて御協議、御承認たまりたく、資料を送付させていただきます。

御意見等ございましたら、別紙【書面表決書】を令和8年1月6日(火)までに事務局へ提出をお願いします。

なお、御意見等ない場合は、御承認いただけましたものとして取り扱わせていただきます。

記

○送付資料

- 1 協議事項 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について【資料1】【別添1、1-2】

飯綱町企画課企画係

課長：平井喜一郎 担当：西澤

TEL 253-2512 Fax 253-5055

協議事項 地域公共交通確保維持改善事業評価(生活交通確保維持改善計画事業)について

1. 事業実施の目的・必要性

飯綱町では、「生活サービス機能、交通ネットワーク等が確保された小さな拠点を形成し、住み慣れた地域で将来にわたり暮らし続けられる町」を目指している。公共交通の役割は、誰もが、町に整備された生活サービス機能(目的施設)や町外の目的施設にアクセスできるよう、移動手段を担うことである。

本町では、「地域内交通」として国道線、飯綱温泉線、地蔵久保線、東柏原線、夕予約型デマンドワゴン(朝夕・日中)、予約型ナイトワゴン、バスコネクトを運行している。また、「地域間交通」として、しなの鉄道北しなの線、長電バス牟礼線が運行されている。

一方で、今後、人口の減少がますます進むことにより、利用者の絶対数が減少することが想定されている。このような社会状況の中では、移動サービスの提供者である交通事業者や本町の努力だけでは、運行を維持していくことは難しい。加えて、本町では、高齢化がますます進んでおり、車を運転できなくなっても住み慣れた地域で暮らし続けるための移動手段を確保・維持する重要性は高まり続けている(独自のバスヘルパー制度を導入し、協働で公共交通を乗って残すための努力を続けている)。

このため、地域公共交通確保維持事業により、高齢者の通院・買い物等の移動手段となっている予約型デマンドワゴンを確保・維持していくことが必要である。

2. 事業内容

日中予約型デマンドワゴンの運行

3. 事業実施の適切性

事業が計画に位置付けられたとおり適切に実施された。

4. 目標・効果達成状況

(1) 目標設定

- ① 利用者数を令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)と同程度とする 9,000 人/年以上の利用を目指す。
- ② 予約型デマンドワゴンに対する年間公的負担額を令和3年度と同程度の 1,700 万円/年未満とする。
- ③ 一乗車あたりの公的負担額も令和3年度と同程度の 1,900 円/年未満とする。

(2) 達成状況

事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。

① 利用者数

目標値	実績値	取組
9,000人	11,499人	・フルデマンド化への切替、町外者(観光客等)への利用範囲拡大、Suica 導入に伴う障がい者割引範囲の拡大を図り、利用者数の維持及び向上に努めた。

② 予約型デマンドワゴンに対する年間公的負担額

実績値2,413万円(目標値【1,700万円】令和3年度比41.9%増)

③ 一乗車あたりの公的負担額

実績値2,098円(目標値【1,900円】令和3年度比10.4%増)

飯綱町地域公共交通活性化協議会

会長 土屋龍彦 あて

書面表決書

令和 年 月 日

役職名

氏名

協議事項

○地域公共交通確保維持改善事業評価（生活交通確保維持改善計画事業）について

（御意見等ございましたら御記入ください。）

※書面協議書につきましては、ファックス（026-253-5055）または同封いたしました封筒にて郵送をお願いします。メール（kikaku@town.iizuna.nagano.jp）でも結構です。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業) (案)

令和7年 12月 19日

協議会名: 飯綱町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>有限会社飯綱ハイヤー</p>	<p>【運行系統名】 日中予約型デマンドワゴン 【運行区間】 飯綱町内全域</p>	<p>・「利用者数の増加」、「1乗車あたりの公的負担額の抑制」を目標として事業を実施した。 ・運行時間30分拡大と時間・行先を自由とするフルデマンド化への切替 ・長野地域バス共通ICカード「KURURU」へSuica機能搭載 ・町外者(観光客等)への利用範囲拡大</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された</p>	<p>[目標] ①利用者数の維持 R3年度(令和3年4月～令和4年3月)と同程度とする8,963人の実績維持を目指したデマンド全体の利用者数目標 9,000人以上 ②予約型デマンドワゴンへの年間公的負担額1,700万円未満 ③1乗車あたりの公的負担額1,900円/人</p> <p>[達成状況] 利用者については、2事業者合わせて11,499人となり、目標は達成した。フルデマンド化により日中の利用者が生活に必要な施設にアクセスできていることと、利用対象者の範囲を拡大したことにより観光客等の利用も増大したことが要因として推測される。(達成) 一方経費面では、予約型デマンドワゴンの年間公的負担額が2,413万円が目標値(年間1,700万円未満)を41.9%上回った。また、1乗車あたりの公的負担額についても2,098円/人であり目標値(1,900円/人)を10.4%上回った。要因として、Suica導入に伴う高齢者割引の適用による運賃収入の減少、燃料費や人件費の高騰など運行事業者の管理費増大による運行経費の増加が影響していると考えられる。(未達成)</p>	<p>・フルデマンド化に伴い、日中の利用者が生活に必要な施設へアクセスできる利便性が確保されたこと、さらには観光客等の需要拡大にも対応できたことが利用者数の増加に繋がったと考えられる。今後は「利用者数の維持・拡大」を継続しつつ、財政健全性を同時に高める施策を進めていく。その両方を実現すべく車両構成の再編を視野に検討を行う。現状5台の車両のうち1台を、小型の5人～7人乗り車両へサイズダウンすることを検討・実施予定である。燃費・車両維持費・運転手人件費といったコスト削減を見込みつつ、利用実態に合わせた柔軟な運用を進めることで、持続可能な公共交通の実現を目指す。 ・いずれの施策実行に取り組む上でも、第一に地域住民の声を反映しつつ、運行事業者や地域団体と連携して改善を進めて行く。</p>
<p>長電バス株式会社</p>		<p>・乗降データの分析を実施し、利用実態とニーズの把握に努めた。 ・フルデマンド化によりバスヘルパーのサポート体制変更</p>			

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年12月19日

協議会名:

飯綱町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:

地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>飯綱町では、「生活サービス機能、交通ネットワーク等が確保された小さな拠点を形成し、住み慣れた地域で将来にわたり暮らし続けられる町」を目指している。公共交通の役割は、誰もが、町に整備された生活サービス機能(目的施設)や町外の目的施設にアクセスできるよう、移動手段を担うことである。</p> <p>本町では、「地域内交通」として国道線、飯綱温泉線、地藏久保線、東柏原線、予約型デマンドワゴン(朝夕・日中)、予約型ナイトワゴン、iバスコネクトを運行している(R7年度事業時点)。また、「地域間交通」として、しなの鉄道北しなの線、長電バス牟礼線が運行されている。</p> <p>一方で、今後、人口の減少がますます進むことにより、利用者の絶対数が減少することが想定されている。</p> <p>このような社会状況の中では、移動サービスの提供者である交通事業者や本町の努力だけでは、運行を維持していくことは難しい。加えて、本町では、高齢化がますます進んでおり、車を運転できなくなっても住み慣れた地域で暮らし続けるための移動手段を確保・維持する重要性は高まり続けている(独自のバスヘルパー制度を導入し、協働で公共交通を乗って残すための努力を続けている)。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、高齢者の通院・買い物等の移動手段となっている予約型デマンドワゴンを確保・維持していくことが必要である。”</p>
-------------------------------------	---